

春夏どりダイコンの栽培に関する研究

第1報 晩抽系青首品種と作型

佐藤 忠弘・有馬 重大・長谷川 一

(青森県農業試験場)

Studies on Cultivation of Radish for Spring and Summer Season

1. Varietal response of the late bolting, green-top typed cultivars in different cultural system

Tadahiro SATO, Shigeo ARIMA and Hajime HASEGAWA

(Aomori Agricultural Experiment Station)

1 ま え が き

晩抽性ダイコンの新品種の発表が相つぎ、青森県内においても最近、これら品種の栽培に高い関心が寄せられている。そこで、適品種の選定とあわせて、その栽培技術を確認しようとして試験を行った。

2 試 験 方 法

供試品種：“旭交春青”，“青首春富”，“晩抽総太り”，“春姫”，“青味”，“若桜”，“春総”，“春美”，“春王”，“春王2号”，“四月早生”，“春早生”，“春宮”，“天春”，“晩抽青首宮重”，“青みの”の計16品種を用いた。

表1 品種と根重

作 型 品 種	a) ハウス 栽 培 (g)	トンネル栽培b)		マルチ栽培c)	
		4月18日 まき (g)	5月8日 まき (g)	4月18日 まき (g)	5月8日 まき (g)
1 旭 交 春 青	473	560	583	550	910
2 青 首 春 富	446	660	900	470	744
3 晩 抽 総 太 り	522	620	933	410	920
4 春 姫	323	580	950	497	840
5 青 味	—	580	793	557	780
6 若 桜	—	500	866	—	430
7 春 総	380	720	—	400	773
8 春 美	—	660	983	—	485
9 春 王	300	640	1,066	122	906
10 春 王 2 号	247	620	1,033	264	746
11 四 月 早 生	404	630	1,166	314	487
12 春 早 生	390	760	1,166	360	850
13 春 宮	344	560	1,350	380	1,002
14 天 春	—	670	1,033	406	520
15 晩抽青首宮重	322	—	433	540	848
16 青 みの	—	660	1,583	77	792

注. a) 4月24日収穫，生育日数82日

b) 4月18日は種，6月12日収穫，生育日数55日
5月8日は種，7月3日収穫，生育日数56日c) 4月18日は種，6月17日収穫，生育日数60日
5月8日は種，7月3日収穫，生育日数56日

作型：1) ハウス栽培 ファイロンハウス内，無加温トンネルマルチ栽培とし，昭和55年2月1日に，は種した。

2) トンネル栽培 トンネルマルチ栽培とし4月18日，5月8日の2回に，は種した。換気は，は種後24日目と10日目にそれぞれ経10cm程度の小穴をあけ，その後，数回にわたり穴あけをして，40日目と35日目にそれぞれトンネルを除去した。

3) マルチ栽培 黒色ポリを使用，4月18日，5月8日の2回には種した。

各作型とも，うね幅140cm(うね面100cm)，株間30cmの3条まきとした。

3 試 験 結 果

1 肥大性と生育日数

は種から収穫までの所要日数は，ハウス栽培では82日，トンネル栽培では55日，マルチ栽培では60日となり外気温の上昇に伴って短縮した。また，肥大特性の差異が品種間に最も顕著に認められたのは，トンネル栽培の遅まき区であり，根重および10a当たり収量において“春王”，“春王2号”，“四月早生”，“春早生”，“春宮”，“天春”，“青みの”がその他の品種に比べて優った。

2 抽だいと収穫率

“春青”，“青首春富”，“晩抽総太り”，“四月早生”などは，“春王”，“春早生”，“春宮”，“晩抽青首宮重”などより明らかに低温感応性が鈍く，春まき(早まき)に適し，尻太りなどの根形のくずれもなく有望性が認められた。

“晩抽青首宮重”，“青みの”は低温に対して比較的敏感であり，施設，マルチ栽培とも，は種期が早いほど，肥大が進まず，収量が低く，不安定であった。しかし，トンネルマルチ栽培では，各品種とも全く抽だいが認められなかった。これはデバーナリゼーション効果によるものと思われる。なお，特に肥大，収量の安定性が高かったのは，“春王2号”，“四月早生”，“天春”，“青みの”などであった。

表2 品種と抽だいおよび収穫率

項目 作型 品種	抽 だ い 率 (%)					収 穫 率 (%)				
	ハウス 栽 培	トンネル栽培		マルチ栽培		ハウス 栽 培	トンネル栽培		マルチ栽培	
		4/18 まき	5/8 まき	4/18 まき	5/8 まき		4/18 まき	5/8 まき	4/18 まき	5/8 まき
1 旭 交 春 青	0	0	0	25.0	0	92	80	80	75	56
2 青 首 春 富	0	0	0	0	0	100	75	67	100	56
3 晩 抽 総 太 り	0	0	0	11.0	0	95	73	75	89	22
4 春 姫	0	0	0	22.0	0	95	80	80	78	22
5 青 味	—	0	0	22.0	0	—	73	73	78	22
6 若 桜	—	0	0	—	0	—	72	80	—	33
7 春 総	0	0	—	22.0	0	100	67	—	78	33
8 春 美	—	0	0	—	0	—	78	73	—	22
9 春 王	100	0	0	100	0	0	100	60	0	22
10 春 王 2 号	57.0	0	0	66.7	11.1	43	73	73	33	67
11 四 月 早 生	0	0	0	33.3	0	100	75	87	67	22
12 春 早 生	0	0	0	66.6	0	90	89	80	44	56
13 春 宮	0	0	0	100	0	100	73	93	0	56
14 天 春	—	0	0	81.8	0	—	100	93	10	56
15 晩 抽 青 首 宮 重	38.9	—	0	75.0	0	56	—	92	25	67
16 青 み の	—	0	0	100	66.6	—	80	95	0	22

表3 品種の作型別有望性

品種	作型	ハウス 栽 培	トンネル栽培		マルチ栽培	
			4/18まき	5/8まき	4/18まき	5/8まき
(I) 時 無 型	1 旭 交 春 青	◎	◎	△	△	
	2 青 首 春 富	◎	◎	○	○	
	3 晩 抽 総 太 り	◎	△	△	○	
	4 春 姫	○	△	△	○	
	5 青 味		△	△	○	
	6 若 桜			△	△	
	7 春 総	○	◎			
	8 春 美			○	○	
(II) み の わ せ 型	9 春 王		△	△		
	10 春 王 2 号		○	○	△	○
	11 四 月 早 生	△	○	◎		
	12 春 早 生	△	○	△	△	○
	13 春 宮	△	○	○		○
	14 天 春		◎	○		
(III) 宮 総 重 太 型	15 晩 抽 青 首 宮 重			△		
	16 青 み の		◎	◎		△

注. ◎:有望, ○:やや有望, △:中

しかし, “春青”, “春富”, “晩抽総太り”は, マルチ栽培の早まきでは抽だいが認められ, 他方遅まきでは尻太り

表4 春夏どり有望品種の主要特性と適作型

品種	項目	草 型	根 形	根 色	抽 だ い 性	適 応 作 型
春 青		時無型, 葉毛多く, 濃緑色	短	青首	遅	ハウス4, 5月どり
春 富		” ” ”	”	”	”	”
晩 抽 総 太 り		” ” ”	”	”	”	”
春 王 2 号		みのわせ型, 淡緑色, 葉数中	長	白	やや早	トンネル, マルチ6月どり
四 月 早 生		” ” ”	”	”	”	”
天 春		” ” ”	”	”	”	”
青 み の		” ” ”	”	青首	早	トンネル, マルチ7月どり

による根形の乱れなどの発生により収穫率が低下した。

以上の結果から, 供試16品種について草型, 根形, 抽だい性などから時無型として“旭交春青”他7品種, みの早生型として“春王”他5品種, 宮重型として“晩抽青首宮重”, “青みの”の3群に類別することができた(表3)。

各作型(4, 5月どり, 6, 7月どり)に適する品種群を選定すると, 4, 5月どりとしては, 時無型の小型青首品種群が抽だいが少なく, ハウスおよびトンネルマルチ栽培の早まきに最適と思われた。6, 7月どりは, みのわせ, 宮重総太り型品種群のトンネルマルチ栽培が安定し, 良品質のダイコンの生産ができた。

本実験の結果から有望品種としては“春青”, “春富”, “晩抽総太り”, “春王2号”, “四月早生”, “天春”, 及び“青みの”は収量が安定し, 品質もよく, これら品種を適作型に栽培することによって継続的な市場出荷が十分行えるものと判断した。

なお, これら品種は晩抽系で低温肥大性があることから, 今後これら品種については春期の早出し出荷をねらった, ハウス栽培による3~4月どりならびに露地(平坦地)トンネルマルチ栽培による5月上旬出荷のための作型確立を検討していきたい。